

平成25年度 古墳館の**新**体験教室

熊本県立装飾古墳館

熊本県立装飾古墳館では、来館者や利用者の生涯学習の場として、また、参加体験しながら学ぶことができる博物館として、毎年様々な体験教室を実施しています。当館では、各体験教室を古代体験「学習」の一つの「手段」としてとらえています。すなわち、体験すること自体を目的とするのではなく、体験を通して歴史に対して興味を持ってもらい、かつ学んでもらうことを目的としています。そのために、各体験を行う際に、活動内容の説明だけでなく、必ずその活動に関する歴史の話をしています。（当館の展示内容や映画、隣接する岩原古墳群等との関連も考慮した内容にしています）

今回はその中から、今年度新たに始める体験教室について御紹介します。

1 山鹿の繭を使った糸紡ぎ体験

(1) 内 容

蚕と絹の歴史は古く、古代中国に始まる養蚕は弥生時代に中国や朝鮮からの渡来人によって日本にもたらされました。有名な「魏志倭人伝」には、蚕と桑と絹の記載がありますし、実際に遺跡から絹織物の出土例も報告されています。



絹が伝わってから、人々は品質改善のために長い年月をかけて努力を重ねてきました。特に、江戸時代に幕府が貿易赤字是正のため、諸藩に絹の生産を奨励した際、大きな改善が見られました。そして、明治以降には養蚕業は日本の近代化を支えるほどの基幹産業となりましたが、戦後徐々に衰退していきました。

熊本県では、明治から昭和初期にかけて養蚕が盛んに行われており、最盛期には約7万件もの養蚕農家がありました。装飾古墳館があるここ山鹿市でも非常に盛んに行われており、当時旧豊前街道沿いには呉服の大店も軒を連ねていました。

しかし、昭和10年代から海外への輸出が低迷し、国内でも和服文化の衰退や代替品の普及などによって、養蚕業は徐々に産業の表舞台から姿を消していきました。

現在では非常に少なくなってしまった養蚕農家ですが、その内の4軒は装飾古墳館のあるここ山鹿市でも頑張っておられます。今回の体験教室では、山鹿で現在も大切に育てられている蚕の見学と、繭から絹糸を紡ぐ工程をセットで体験します。



(2) 材料代 500円/個

(3) 定 員 30名（要申込み）

(4) 日 時 平成25年9月14日（土）

10:00～15:00（昼食含む）

(5) 活動内容

- ① 講話1「蚕と絹のお話」
- ② 養蚕農家見学
- ③ 講話2「山鹿の養蚕業について」
- ④ 糸紡ぎ体験（繭を煮て絹糸を紡ぐ）
- ⑤ 片づけ、解散

(6) 学習できる内容など

- ・ 絹の歴史（どのように生産されてきたか、どのように活用されてきたかなど）について学ぶことができる。



- ・ 養蚕農家の見学を通して、養蚕業とはどのようなものか、またそれを営む方々はどのような思いで仕事をされているのかを学ぶことができる。
- ・ 絹が何からどうやってできるのか、その行程を体験を通して学ぶことができる。

2 古代ガラス玉づくり

(1) 内 容

ガラスの歴史はたいへん古く、はっきりとはわかっていませんが、少なくとも3500年程前にはエジプトやメソポタミアで作られていたと考えられています。また、その当時から穴を開けたガラス玉も作られていたようです。(現在はトンボの複眼に似ていることから「とんぼ玉」と呼ばれることもあります)



日本では、弥生時代の遺跡から小型のガラス玉が出土していますが、それらは輸入品であり、国内で生産されるようになったのは奈良時代頃だと考えられています。(正倉院には多数のガラス玉とともに、製法を記した書物や原料も収蔵されています)

今回の体験では、ガラス棒を火であぶり、やわらかくなったところでアルミの棒に巻きつけてガラス玉を作り、それをつなぎ合わせて首飾りを作ります。

様々な色のガラス棒をバーナーで溶かし、鉄芯に巻きつけてガラス玉を作る活動です。

(2) 材 料 代 500円

(3) 定 員 30名(要申込み)

(4) 日 時 平成25年12月21日(土)
10:00~12:30

(5) 活動内容

- ① 講話「ガラス玉の歴史について」
- ② ガラス棒をバーナーであぶり、溶けてきたら鉄芯に巻きつける。
- ③ 鉄芯を回転させながら形を整え、徐冷材に入れてしばらく冷やす。
- ④ 固まったら中心の穴に紐を通し、首飾りにする。



(6) 学習できる内容など

- ・ ガラス玉の歴史について学ぶことができる。
- ・ ガラスを熱することで、色や形状が変化する様子を体感することができる。
- ・ 飴状に溶けたガラスを造形する楽しさを味わうことができる。

3 古代勾玉づくり

以前から当館では、「滑石」という古墳時代にも用いられていた石材をサンドペーパーで削って、古代の装身具である「勾玉」を作る「古代勾玉づくり」を行ってきましたが、今年度から、より多くの方に体験していただけるよう、下表のとおり材料となる石の種類を増やしました。

材料となる石	材料費	所要時間
白(カット済)	200円	1.5時間
白	200円	2時間
黒モザイク	300円	
ピンク	300円	



白 黒モザイク ピンク



御連絡先 熊本県立装飾古墳館 (〒861-0561 山鹿市鹿央町岩原 3085 番地)

TEL : 0968-36-2151

HP : <http://www.kofunkan.pref.kumamoto.jp/>

